



12 翼櫓(たつみやぐら)



16 坤櫓(ひつじさるやぐら)



21 肴町向櫓



22 艮櫓



全国初!屏風折土塀

全国で初めて発見された貴重な礎石です。
いろんな城郭の城絵図に描かれていましたが、痕跡は見つかっていませんでした。
土塀が折れ曲がっていることで防御力を高める効果があり、城の北方の防御を固めようとした意図が感じられます。

【探しています】

山形市では本丸御殿及び櫓等の復原を計画しています。復原整備の早期実現のため、写真や立面図など参考となる資料についての情報があればご連絡ください。



二ノ丸東大手門櫓・本丸御殿広場を公開しています

二ノ丸東大手門櫓

期間:4月初旬から11月初旬
(無休)
時間:9:00~16:00
(4~6月、9~11月)
9:00~17:00(7~8月)
料金:無料

本丸御殿広場

期間:通年(無休)
時間:9:00~16:00
(4~6月、9~3月)
9:00~17:00
(7~8月)
料金:無料



国指定史跡

山形城跡



1 二ノ丸東大手門



13 本丸一文字門(石垣・大手橋・高麗門・枳形土塀)

〈山形城の歴史を探る〉



最上義光歴史館

開館:9:00~17:00(受付16:30まで)
休館:毎週月曜・年末・年始
入館料:無料 ☎023-625-7101



山形市郷土館

開館:9:00~16:30(受付16:00まで)
休館:年末・年始
入館料:無料 ☎023-644-0253



山形県立博物館

開館:9:00~16:30(受付16:00まで)
休館:毎週月曜・年末・年始
入館料:成年300円 学生150円
高校生以下無料 ☎023-645-1111

〈公園へのアクセス〉

所在地:山形県山形市霞城町1-7(管理事務所)
開門:5時(11月~3月は5時30分)
閉門:22時
電車:JR山形駅西口から0.7km(南門)
バス:中心街100円巡回バス 霞城公園下車0.4km(東大手門)
車:山形蔵王IC 国道286号・112号経由 8km(北門)

〈問い合わせ〉

観光に関すること

山形市 観光戦略課 ☎023-641-1212(内線424)
山形市観光案内センター ☎023-647-2266

公園の整備・管理に関すること

山形市 公園緑地課
☎023-641-1212(内線529・530)

発掘調査・城郭の歴史に関すること

山形市 文化創造都市課
☎023-641-1212(内線626・627)



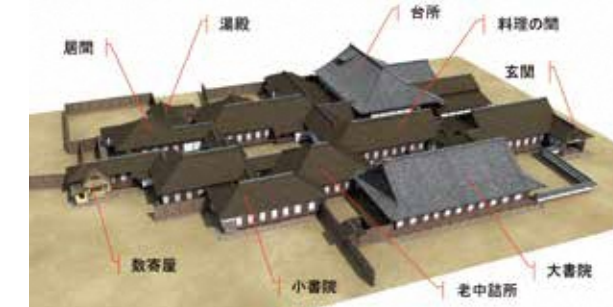
令和6年3月作成

最上義光騎馬像

二ノ丸東大手門

山形城VR/AR公開中

VRで山形城を体感し、ARで本丸御殿と記念撮影をしよう!



お手持ちのスマートフォンやタブレットで園内を散策しながら体験することができます。園内に8箇所のVRポイント、1箇所のARポイントがあります。アプリは無料ですが、無料Wi-Fi範囲外では通信料が利用者負担となります。

城郭の歴史

年号	記事
延文2(1357)	斯波兼頼、山形城の築城を始める。
慶長5(1600)	長谷堂合戦において、上杉軍の直江本陣からは霞がかかり見えづらかったため、「霞が城」と呼ばれるようになった。
慶長7(1602)	長谷堂合戦で直江山城守の軍を退けた後に庄内地方の上杉方の城を攻め落として、57万石の領地を手に入れた。
～慶長年間以降	山形城三ノ丸の整備拡張をおこなう。57万石の領地に見合った東日本では江戸城と並ぶ規模の城を築き上げた。
元和8～寛永年間(1622～1645)	鳥居忠政は幕府普請奉行の助けを借りながら、城門周辺の土塁を現在のような石垣に作り変えた。
明和5(1768)	秋元氏、三ノ丸内に新御殿建設。
明治2(1869)	版籍奉還。以後二ノ丸内は無となり、建物、櫓は全て壊される。
明治29(1896)	陸軍歩兵第三十二連隊入営。
大正10(1921)	ソメイヨシノ1,000本植樹終了(日露戦争凱旋記念)
昭和56(1981)	空堀となっていた二ノ丸西堀に再び水が入る。
昭和59(1984)	復原整備事業策定
昭和61(1986)	国の史跡に指定される。
平成3(1991)	二ノ丸東大手門復原完了
平成15(2003)	本丸一文字門石垣復原完了
平成17(2005)	本丸一文字門大手橋完成
平成26(2014)	本丸一文字門高麗門・柵形土塀完成

山形城主の変遷

年(西暦)	城主	山形石高	前:〈前封地〉 後:〈転封地〉
1356	斯波(最上)兼頼(八代嶋)義守		前:延文元年(1356)〈宮城・大崎から入部〉
1571	最上義光・家親・義俊		後:元和8年(1622)〈滋賀・大森〉
1622	鳥居忠政・忠恒	20万石 22万石	前:〈福島・平〉 後:〈断絶〉
1636	保科正之	20万石	前:寛永13年(1636)〈長野・高遠〉後:寛永20年(1643)〈福島・会津〉
1643	幕領		
1644	松平直基	15万石	前:〈福井・大野〉 後:慶安1年(1648)〈兵庫・姫路〉
1648	松平忠弘	15万石	前:〈兵庫・姫路〉 後:寛文8年(1668)〈栃木・宇都宮〉
1668	奥平昌彰・昌章	9万石	前:〈栃木・宇都宮〉 後:貞享2年(1685)〈栃木・宇都宮〉
1685	堀田正仲	10万石	前:〈茨城・古河〉 後:貞享3年(1686)〈福島〉
1686	松平直矩	10万石	前:〈大分・日田〉 後:元禄5年(1692)〈福島・白河〉
1692	松平忠弘・忠雅	10万石	前:〈福島・白河〉 後:元禄13年(1700)〈岡山・福山〉
1700	堀田正忠・正春・正高	10万石	前:〈福島〉 後:延享3年(1746)〈千葉・佐倉〉
1746	松平乗佑	6万石	前:〈千葉・佐倉〉 後:明和1年(1764)〈愛知・西尾〉
1764	幕領		明和4年(1767)まで
1767	秋元清朝・永朝・久朝・志明	6万石	前:〈埼玉・川越〉 後:弘化2年(1845)〈群馬・館林〉
1845～1869	水野忠精・忠弘	5万石	前:〈静岡・浜松〉版籍奉還 後:明治3年(1870)〈滋賀・朝日山〉



山形城の構造

本丸・二ノ丸・三ノ丸の三重の堀と土塁を持つ、輪郭式と呼ばれる形式の平城です。南北2.1km、東西1.6kmの規模を誇ります(平面規模では全国第5位)。三ノ丸堀の一部を除き、湧き水と城下を流れる馬見ヶ崎川の水を利用した水堀でした。本丸に2つ、二ノ丸に4つ(最上氏時代は5つ)、三ノ丸に11の出入口があり、三ノ丸については、「吉」の字(十一の口)に因んだともいわれています。本丸に天守閣はなく、藩主が生活する御殿が建てられていました。二ノ丸土塁上には6つの櫓があり、城下の見張りとし、そのうち、西側にあった三階櫓が、天守の役目を果たしていたようです。三ノ丸には家臣団の屋敷が建てられていました。最上氏改易後は、石高の減少から、広大な城郭の維持が困難となり、三ノ丸に新御殿が建てられ、本丸御殿は儀式以外では使われなくなりました。

- 1 二ノ丸東大手門
- 2 二ノ丸東大手門 櫓門
- 3 最上義光騎馬像
- 4 最上義光顕彰碑
- 5 歩兵第三十二連隊碑
- 6 斯波兼頼レリーフ
- 7 木村逸堂寿蔵碑
- 8 ローレツ像
- 9 佐藤総右詩碑
- 10 山形城墟碑
- 11 堀の礎石
- 12 異櫓
- 13 本丸一文字門(石垣・大手橋・高麗門・柵形土塀)
- 14 本丸堀及び土塁
- 15 本丸御殿跡
- 16 坤櫓
- 17 霞城の桜
- 18 日露戦桜碑
- 19 歩兵第三十二連隊跡碑
- 20 山形城址碑
- 21 肴町向櫓
- 22 長櫓
- 23 屏風折土塀
- 24 本丸西堀埋門
- 25 首洗い石鉢
- 26 光明寺跡
- 27 最上義光像
- 28 水野三郎右衛門宅跡

義光について知りたい方は!

最上義光歴史館

戦国大名最上義光に関する資料の他、山形の歴史についての資料を展示しています。



山形城御城印販売中
販売場所は、最上義光歴史館になります。裏の開館日・開館時間をご確認ください。お越しください。



©最上義光歴史館